

プレコンセプションケア⑦

妊娠する前に知っておきたい
女性特有の病気のこと

子宮内膜症

女性特有の病気（婦人科疾患）について

- 女性特有の病気があります。
- 頻度は低くても妊娠の成り立ちや妊娠経過に影響する場合があります。

これらの病気の影響を

①その病気が妊娠に与える影響

②妊娠がその病気に与える影響

にわけて考えます。

今回は、**子宮内膜症**についてです。

※妊娠可能年齢女性の約10%に子宮内膜症がみられるといわれています

①子宮内膜症が妊娠に与える影響

- ・子宮内膜症を持つ妊婦さんは持たない妊婦さんに比べて、流・早産、前置胎盤（胎盤の位置の異常）、尿路感染症、帝王切開のリスクが有意に高いといわれます。
- ・また、SHiP（非外傷性腹腔内出血）は子宮内膜症との関連が報告されています。

※SHiP…妊娠中ないし産褥42日までに発症する、自然発症の非外傷性腹腔内出血で、本邦の母体死亡率は3%、胎児死亡率は10%と重篤で緊急性の高い疾患です。

②妊娠が子宮内膜症に与える影響

- ・妊娠中は排卵が起こらず、子宮内膜の増殖が起こらないので、子宮内膜症の症状は良くなります。ただし、産後に月経が再開すると再び病状は進行していくので、完治とはいえません。

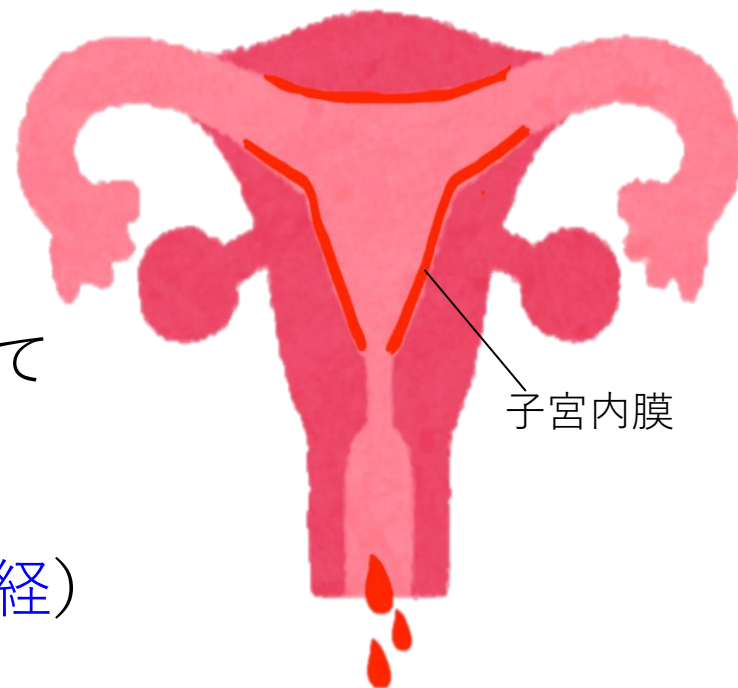
はじめに

子宮内膜症は、

1. 月経痛をはじめとする痛みを引き起こすだけでなく、不妊症の原因になる可能性があります。
2. 症状があるのに放置していると、子宮卵巣の摘出が必要になったり、卵巣がんになる可能性があります。

子宮内膜症とは？

子宮内膜は子宮の内壁の一番表面にある組織で、
卵巣から分泌される卵胞ホルモン（エストロゲン）によって
増殖し、黄体ホルモン（プロゲステロン）とともに
妊娠する準備をしています。
妊娠がおこらないと、子宮から剥がれて出血します（＝月経）

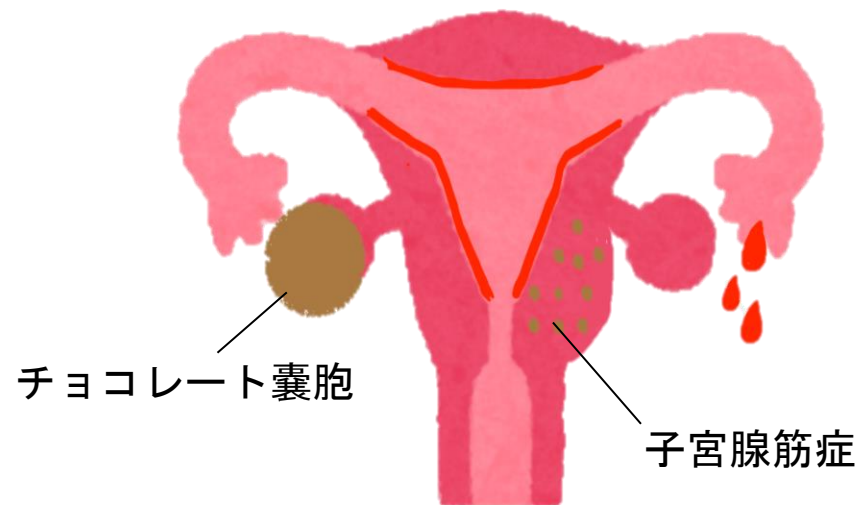


子宮内膜症は、月経で剥がれ落ちるはずの子宮の内膜組織が
何らかの原因で子宮の内側以外の場所に入り込み、増殖する病気です。
子宮内膜症は、卵巣から分泌される卵胞ホルモン（エストロゲン）の影響で
月経を重ねるごとに悪化します。

子宮の内膜組織が卵巣に入り込む、**卵巣子宮内膜症性嚢胞（チョコレート嚢胞）**や、
内膜組織が子宮の筋層内で増殖する、**子宮腺筋症**という病気があります。
まれに膀胱（ぼうこう）や腸、臍（へそ）、肺にもできることがあります。

症状は？

子宮内膜からの出血が腹腔内でおこることで、
周辺臓器の癒着をもたらし、**痛みの原因**となります。
月経痛は子宮内膜症の9割の患者さんに認められ、
月経でないときの**下腹部痛**や**腰痛**、**排便時痛**や**性交時痛**を訴える方もいます。
腸管の子宮内膜症では下血がしばしばみられ、狭窄による腸閉塞が起こることが
あります。肺に発生すると胸痛や喀血がみられることがあります。
膀胱に発生すると月経時の排尿痛や膀胱不快感、血尿がみられることもあります。



妊娠を希望する場合には**不妊症**が問題となります。
子宮内膜症の患者さんの**30～50%が不妊症**となり、成人女性の月経周期ごとの
妊娠率が15～20%であるのに対して、子宮内膜症の患者さんの**妊娠率は2～10%に
低下する**といわれます。

薬物療法

- ・痛みをおさえる対症療法
- ・子宮内膜症の進行を止め、病巣を萎縮させるホルモン療法

●対症療法

鎮痛剤

NSAIDs

ロキソニン[®]、ボルタレン[®]、イブプロフェンなど

アセトアミノフェン

カロナール[®]など

漢方薬（確実な有効性を示すものはない）

薬物療法

●ホルモン療法

LEP（低用量ピル）

…下垂体に作用して、排卵を促すホルモン（FSH、LH）の分泌を抑制することで排卵を停止させ、子宮内膜の増殖を抑制する。

ヤーズ[®]、ルナベル[®]、アリッサ[®]など

副作用：静脈血栓塞栓症（1万人に3-9人程度）、嘔気、不正出血など

黄体ホルモン（プロゲステン）剤

…子宮内膜の増殖を抑制する。

ディナゲスト[®]

副作用：不正出血など

薬物療法

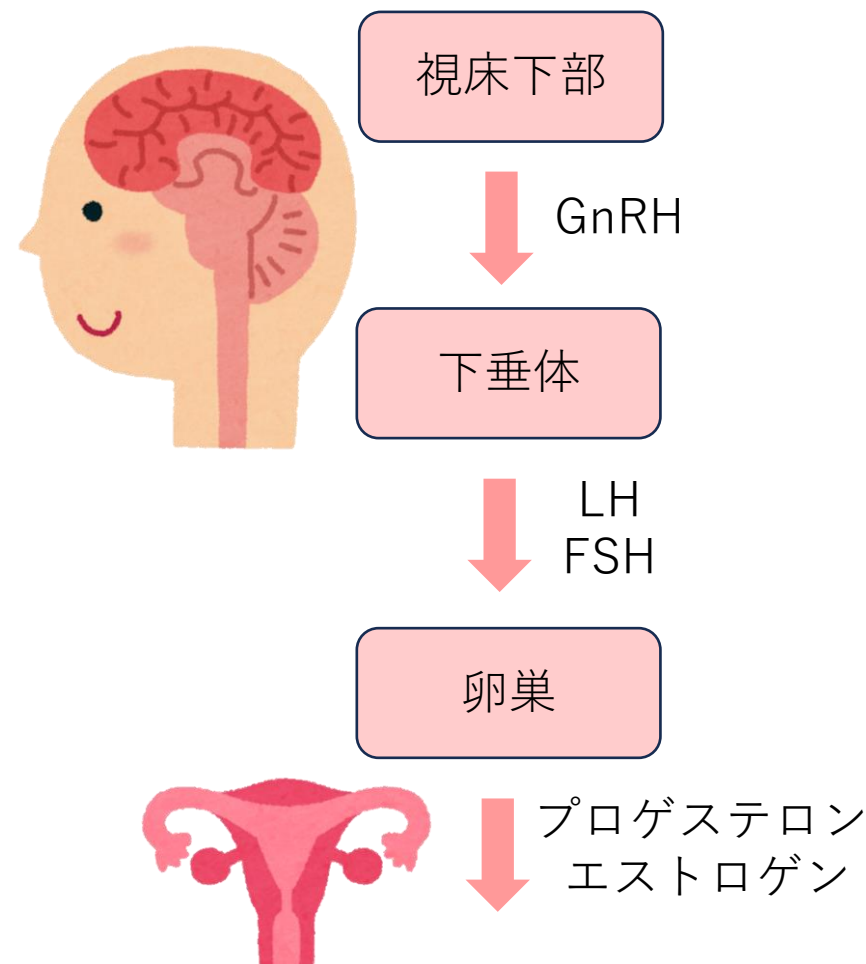
●ホルモン療法

GnRHアゴニストやアンタゴニスト

…下垂体からのホルモン分泌を強力に抑制し、
エストロゲンを持続的に低下させる。

ブセレリン[®]、レルミナ[®]

副作用：更年期症状（のぼせ、ほてりなど）



子宮内留置型黄体ホルモン除放製剤（ミレーナ[®]）

…子宮内に留置し子宮内膜の増殖を抑制する。

5年間継続して留置可能だが、留置・抜去時に疼痛を伴うことがある。

手術療法

チョコレート嚢胞が大きい場合や、強い痛みを伴う場合などに選択されます。傷が小さく術後回復が早いと言われる**腹腔鏡手術**をお勧めしていますが、子宮内膜症の程度や手術歴などによって、**開腹手術**が選択される場合もあります。

妊娠を希望する場合： 卵巣や卵管をできるだけ本来の形や位置に戻す手術

チョコレート嚢胞の摘出、癒着剥離

…の嚢胞の部分だけを切除したり、穿刺のみとすることで、卵巣の正常部分をできるだけ残す手術。どんなに工夫しても卵巣の機能が弱まる（卵巣予備能が低下する）可能性がある。

妊娠を希望しない場合： 根治手術

付属器（卵管・卵巣）切除

…特に痛みが強い場合には、加えて子宮摘出を行うこともある。



卵巣子宮内膜症性のう胞（チョコレート性のう胞）のがん化

子宮内膜症は良性疾患ですが、
チョコレート性のう胞の0.7 %ががん化するといわれています。

特に、45歳以上で、サイズの大きいのう胞（6cm以上）が
がん化しやすいといわれています。

のう胞壁の肥厚や壁在結節、のう胞の急速な増大などの所見が
癌化の早期発見に有用とされ、長期的な経過観察が大切です。

おすすめ!

1. 月経痛をはじめとする痛みの症状があれば、一度婦人科で相談してみましょう。
2. 子宮内膜症は痛みだけでなく、不妊症の原因になる可能性があります。
3. 子宮内膜症は、流早産、前置胎盤をはじめとする妊娠中の合併症を引き起こす可能性があります。
4. チョコレートのう胞はまれにがん化する可能性があり、長期的な経過観察が大切です。